

水稻の夏・秋ウンカ類を省力防除する

アドマイヤー[®] 粉剤DL



アドマイヤーは、水稻・野菜・果樹などの重要害虫の防除に有効な殺虫剤として、日本はもとより世界中で使用され、その効果と安全性で高い支持を受けています。

アドマイヤー粉剤DLは、稲のウンカ類・ツマグヨコバイ・カメムシ類・イネドロオウムシに対して高い効果があります。れんこんではアブラムシ類に防除効果を示します。優れた速効性と残効性があり、従来剤に抵抗性を持ったこれらの害虫にも的確な効果を示します。

2004年度
農林水産大臣賞
受賞

アドマイヤーの有効成分
「イミタクロプリド」の創出に対して

※取扱所—おなじみの [®]は登録商標 (F-1100)



Bayer CropScience

- ネオニコチノイド系の薬剤で、作用機構も有機リン剤、カーバメイト剤、合成ピレスロイド剤などとは異なりますので、これらの剤に抵抗性を持った害虫に対しても優れた効果を示します。
- ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ、カメムシ類・イネドロオイムシ等各種害虫に長期間有効です。
- ウンカ・ヨコバイ類は環境条件によって異常飛来、増殖が見られます。このような時の応急散布剤として最適な薬剤です。
- れんこんのアブラムシ類に卓効を示します。

■適用害虫および使用方法

(2006年7月現在の登録)

作物名・適用場所	適用害虫名	10アール当り 使用量 (kg)	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	ツマグロヨコバイ ウンカ類	3~4	21日	本剤のみ 2回 イミダクロプリド 3回 (本田では2回)	散 布
	カメムシ類	4			
	イネドロオイムシ	3			
ヨシ、オギ、ススキ、 セイタカアワダチソウ等の 多年生雑草が優占してい る休耕田	カメムシ類	4	—	本剤のみ 2回 イミダクロプリド 2回	
れんこん	アブラムシ類		14日	本剤のみ 2回 イミダクロプリド 3回 (植付後は2回)	

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

■注意事項

- 一般の粉剤に比べて見掛比重がやや大きく、流動性が良いので散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しぼって散布して下さい。
- 蚕に対しては長期間毒性がありますので、絶対に桑葉にかからないようにして下さい。
- 眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。
- 養蜂が行なわれている地区では周辺への飛散に注意するなど、ミツバチの危害防止に努めて下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

F-1100/06.07 NY 印刷：平成18年7月

バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
www.bayercropscience.co.jp